

卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧

〈卒業論文〉

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 小栗 玄 | 梟首の政治的意義 | 黒岩 千智 | 近世の温泉地における誘客の構造―上野国吾妻郡草津村を事例に― |
| 山田 陸人 | 中世延暦寺の大衆と武力 | 塩畑 里紗 | 戦国期上杉氏の家臣団構成―御館の乱から考える― |
| 佐々木春希 | 近世川越往還における駄賃稼ぎについて | 下松 由季 | 十八世紀後半利根川中流地域の水害対策と地域社会 |
| 鈴木 遼香 | 南洋群島への再進出活動からみる引揚と引揚者 | 西水 悠理 | 明治八年の漁業関連法制度改革と海面官有論争 |
| 高橋悠太郎 | 撰関期賀茂祭の整備 | 杉森 智之 | 岩崎家と庭園開放―「富豪の庭」から市民の公園へ― |
| 田中 誠也 | 鎌倉幕府の常陸国鹿島社支配―鹿島氏の再研究を通して― | 田窪亮太郎 | 日露戦争期におけるロシア兵捕虜「厚遇」の実態―ポーランド人捕虜に関する事例を中心として― |
| 土屋浩太郎 | 「満州国」における首都建設について | 角田 佳加 | 日清戦争期の「朝敵」と代言人代議士―旧仙台藩陪臣による土地取戻訴訟の分析から― |
| 中村 哲朗 | 大覚寺統と性円法親王―後宇多院の生涯と付法― | 西本 行範 | 三河における中世寺院の成立と展開 |
| 土師 亮太 | 神祇官制度の変革の背景 | 藤崎 徹也 | 鎌倉幕府成立期における東西境界地域―東海道を事例として― |
| 今堀 実果 | 八世紀賑給に関する考察 | | |
| 江島 徳政 | 「文化政治」期における朝鮮総督府の「社会主義」認識 | | |
| 太田聡一郎 | 「宣戦布告なき戦争」における戦時国際法の運用の解釈に関する一考察―日本陸軍における催涙性ガスへの法的位置づけを事例として― | 松岡 篤輝 | 京下り官人と鎌倉幕府の成立 |
| 熊谷 正迪 | 乃木希典の殉死と同時代人の「武士道」観 | 松田 康佑 | 田中隆吉の「肅軍」論 |
| 栗田 敦 | 明治後期における府県レベルの同業組合に対する勸業政策―愛知県の絞産業を事例として― | 持田香菜子 | 精神病者監護法及び精神病院法の成立過程と施行について |
| | | 森 文実 | 小学校同窓会による社会教育体制の形成と展開―神奈川県足柄上郡南足柄村を中心に― |

渡部 亮 社会民衆党の変容と議会主義
三島 甲斐 連合側側の天皇「研究」―アメリカを中心に―

〈修士論文〉

坂井 武尊 室町幕府意思決定システムの特徴と変遷―義持・義
教期を中心に―

菊地 智博 幕末軍制改革期における火薬調達機構と火薬市場
桑田 翔 明治前期の農商務省と政策基盤の形成

鷲 慶亮 鎌倉・南北朝期の和与と武家政権
櫻 聡太郎 日本古代における学令の受容と儀礼

杉田 建斗 日本古代の神鏡と天皇制
滝野祐里奈 戦間期における海外移民政策・事業の成り立ちと展
開について―対ブラジル移民を中心に―

林 遼 室町政権の祈禱体制―三宝院・伝奏の介在に注目し
て―

山本 一夫 近世の地方米市場と金融政策

〈博士論文〉(授与年月日が二〇一八年四月以降二〇一九年三月までの
もの、審査委員名を付記した)

甲 (課程博士)

安原 徹也 近代日本における官吏任用制度成立過程の研究

―制度の運用と慣行の形成に着目して―

鈴木淳(主査)・野島(加藤)陽子・山口輝臣・
清水唯一朗・若月剛史

谷口 雄太 中世足利氏の血統と権威

高橋典幸(主査)・三枝暁子・桜井英治・末柄豊
・小川剛生
朴 完 第一次世界大戦後における日本陸軍の自己改革に関
する研究―国民・皇室・帝国の視点から―

曾 寶満 近代日本における反西洋的言説の研究―「アジア・
モンロー主義」と「東亜協同体」論を中心に―

野島(加藤)陽子(主査)・鈴木淳・吉澤誠一郎
・酒井哲哉・有馬学
堀川 康史 室町幕府地方支配の研究

高橋典幸(主査)・三枝暁子・山家浩樹・家永遵
嗣・中島圭一
吉田ますみ 戦間期アジアの海運秩序：自由通商と帝国の論理
―制度の運用と慣行の形成に着目して―

野島(加藤)陽子(主査)・鈴木淳・酒井哲哉・
木畑洋一・五百旗頭薫

乙 (論文博士)

荒木 裕行 近世中後期の藩と幕府

牧原成征(主査)・村和明・小宮木代良・藤田覚
・吉田伸之